

# たはらボッチャ

## 1 用語の定義

|                |   |
|----------------|---|
| ジャックボール        | ターゲットとなる白いボール。  |
| ボール            | 赤色ないしは青色のボール、あるいはジャックボール。   |
| デッドボール         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投球ののちにコート外に出たボール。(アウト)</li> <li>・ 選手が投げないことを選択した。</li> </ul>   |
| デッドボール置き場      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コートの外に出たボール・選手が投げないことを選択したボールは、デッドボールコンテナ、または外周ラインのすぐ外に置かれる。</li> </ul>  |
| イエローカード・レッドカード | 理由なく試合を遅延させる行為など。   |
| サイド            | 個人戦：各サイド1名の選手で対戦。ペア戦：各サイド2名の選手が一つの単位として対戦。チーム戦では、サイドとは3～6名を一つの単位としている。控え選手、スポーツアシスタント、コーチについても、サイドのメンバーである。   |
| エンド            | 一つの試合の中で、両サイドがすべてのボールを投げ終わるまでのひと区切り。  |
| 投球(スロー)        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スローイングエリアにボールを投げ入れること。</li> <li>・ 投げる、補助具(ランブ)を使ってボールを放つこと。</li> <li>・ 基本的に蹴る行為はなしとする(両手が使用できない場合などを除く)</li> </ul> |

## 2 試合の進め方

### 2.1 競技及びチーム登録

- ・個人戦・ペア戦・チーム戦

[ チーム戦の参加人数➡3～6人とする ]

### 2.2 先攻(赤)・後攻(青)の決定

- ・代表者による“じゃんけん”で勝ったサイドが赤と青のどちらでプレーをするかを選ぶことが出来る。

## 3 ジャックボールの投球

- ・赤ボールを投球するサイドがジャックボールを投球する。(スローインボックス①より投球)

- ・審判がジャックボールを手渡しする。

### 3.1 ジャックボールの投球時の反則

- ・ジャックボールが無効エリアで停止した。(ジャックボールラインを越えなかった)
- ・コートの外に投げられた。

### 3.2 反則となった場合の対応

ジャックボールが反則となった場合は、

- ・次のエンドでジャックボールを投球する選手(相手サイド)がジャックボールを投げる。
- ・ジャックボールが有効エリアに投球されるまでこの手順を続ける。
- ・スローインボックス⑥までこの手順を続けても、ジャックボールが有効エリアに投球されなかった場合、ジャックボールはクロスへ置く。

3.3 ジャックボールの投球が反則となった場合の次のエンドでは、反則がなかったものとして開始され、さだめられた投球順序の選手がジャックボールを投球する。

## 4 ボールの投球

### 4.1 第1球目の投球(カラーボールの色の指示があるまでは、手に持たない)

- ・ジャックボールを有効エリアに投球した選手が最初のカラーボールを投球する。
- ・最初のカラーボールがコートから出てしまった場合等は、そのチームがコート内の有効エリアにボールを投球できるまで投球する。(カラーボールの2球目以降は、どの選手が投球してもよい)
- ・有効になれば、相手サイドの投球に移る。

### 4.2 相手サイドの第1球目の投球

- ・第1球目を投球する。
- ・相手サイドの1球目についても、カラーボールがコートから出てしまった場合等は、そのサイドがコート内の有効エリアにボールを投球できるまで投球する。(カラーボールの2球目以降は、どの選手が投球してもよい)

#### 4.3 残りのボールの投球

- ・2球目以降の投球については、全てのボールを投げ切らない限り、ジャックボールから遠いボールを投げたサイドの投球となる。この手順は、両サイドも全てのボールを投げきるまで続ける。
- ・選手が残っているボールを、投球しないと判断した場合は、審判に示すことができ、残りのボールは“デッドボール”と宣言される。

### 5 エンドの終了

- ・両サイドが全てのボールを投球し、審判は得点を発表した後に、“エンドフィニッシュ”を宣言する。

### 6 次エンドの準備

- 6.1 次のエンドの準備として、ボールの回収を行う。回収が済んだら次のエンドを開始する。

### 7 コートから出たボールの扱い

- 7.1 全てのボールは、外枠線に触れたり越えたりした場合はコートの外に出たものとみなされる。
- 7.2 外枠線に触れた、もしくは通過してからプレイングエリア内に戻ったボールはコートの外に出たものとみなされる。
- 7.3 投げたボールがコート内に入らなかった場合は、コートの外に出たものとみなす。  
(誤って落とした場合を除く)
- 7.4 投げたり弾かれたりして外枠線を越えたカラーボールは、全てデッドボールとなり、指定した場所(コートの前面)に置かれる。

### 8 コート上からはじき出されたジャックボールの扱い

- 8.1 試合中にジャックボールがプレイングエリアの外、あるいはジャックボール無効エリアにはじき出された場合、ジャックボールはクロスの上に置き直される。
- 8.2 すでにクロスの上にボールがあって、ジャックボールの置き直しができない場合、ジャックボールはできる限りクロス近く、かつクロス前面に、両サイドラインから等距離になるように置く。
- 8.3 ジャックボールがクロスに置き直された場合、次に投げるサイドは、ジャックボールから遠いボールを投げた方のサイドから投球する。
- 8.4 ジャックボールがクロスに置き直されたときに、プレイングエリアにカラーボールが一つも無い場合、ジャックボールをコート外にはじき出したチームが投球する。

### 9 等距離のボールの扱い

- 2球以上の異なる色のカラーボールがジャックから等距離にあり、さらに両サイド同得点(1:1、2:2など)という状態の場合、最後に投球したサイドが次に投球する。その後、その等距離状態が崩れるか、片方のサイドがすべてのボールを投げ切るまで、両サイドが交互に投球する。得点ボールが等距離にあるが同得点ではない場合(2:1など)、得点となるボールの数が少ないサイドが次に投球する。その後は通常通り進められる。新たに投球されたボールが等距離状態を崩したが、別の等距離かつ同点という状態になった場合、最後に投球したサイドが次に投球する。

## 10 ドロップボール

選手が誤ってボールを落としてしまった場合、意図的な投球でない限り、再度投球する。審判の判断によるものとする。

## 11 審判の過失について

11.1 審判の過失によって間違ったサイドが投球した場合、間違っただけで投球されたボールは投げた選手に戻される。もしボールの配置が投球前の状態から崩れてしまった場合は、そのエンドは無効エンドとして取り扱う。

11.2 審判の過失や行為によってコート上のボールが動いてしまった場合、審判は線審と協議の上、動かされてボールを元の位置に戻す(正確に元の位置に戻せなかったとしても、審判はできるだけ元の状態になるように努める)。審判が元の得点をわからなかった場合、そのエンドは最初からやりなおさなければならない。その最終判断は、審判が決定する。

## 12 得点

12.1 すべてのエンドの終了後、各エンドの得点を合計し、総得点の多いサイドが勝者となる。

12.2 最終エンドを終えて総得点が同点であった場合は、タイブレイク・エンドが行われる。タイブレイク・エンドは勝者を決めるために行われる。

## 13 タイブレイク

13.1 タイブレイクは、追加エンドとして構成される。

13.2 選手は試合を行ったそれぞれのスローイングボックスに留まる。

13.3 タイブレイクでは、“じゃんけん”の勝者が、どちらのカラーボールを先に投球するかを決めることができる。

13.4 ジャックボールは、クロスの位置に置く。

13.5 各チームは投球者を決めて1球のみ投球する。ジャックボールに最も近いボールを投げたチームが勝者となる。タイブレイクでも決着がつかない場合(等距離の場合)、2回目のタイブレイクが行われる。2回目は相手チームの投球で開始する。その際、投球者は替わってもよい。



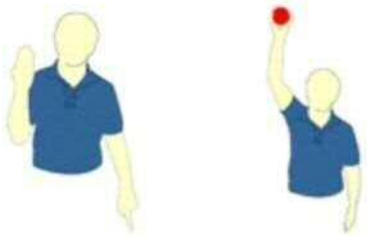
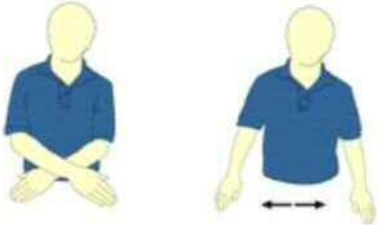

## 14 順位

リーグ戦の順位の決め方は、①勝率→②得失点(タイブレイクで得た得点は、勝者を決めるもので得点には含まれない)→③得点→④失点





## 15 その他

- ・スローイングラインを踏んだりまたいたりして投球した時などは注意する。
- ・2人の選手が同時にカラーボールを投げた場合は、元に戻し注意する。

## 審判

| 合図を送るべき状況     | ジェスチャーの内容  | 審判が行うジェスチャー   |
|---------------|--|---|
| ジャックボールを投げる指示 | 投球を指示するように腕を動かし、「ジャックボールブリーズ」と言う。                                    |    |
| カラーボールを投げる指示  | 投球するサイドの色をインディケーター(指示板)で示す。  |    |
| デッドボール/アウトボール | ボールを指差し、前腕を垂直にあげて手を開き、手の平を審判員の方に向けて、アウトまたはデッドボールと言い、そして出たそのボールを高く上げる |    |
| エンドの終了/試合の終わり | 伸ばした両腕を交差させ、次いで広げる。「エンドフィニッシュ」や「マッチフィニッシュ」とコールする。                    |   |
| 得点            | 指示板の勝った方の色を掲示して指をそこに添え、スコアを表示しつつコールする。                               |  |

## 得点指示

| 得点の表示例  |   |  |   |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| 赤 3 点   | 赤 7 点   | 赤 10 点   | 赤 12 点  |

## 得点表のつけ方

| チーム数 | 第1エンド | 第2エンド | 第3エンド | 第4エンド | 第5エンド | 第6エンド | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| Aチーム | 0     | 2     | 0     | 0     | 3     | 0     | 5  |
| Bチーム | 1     | 0     | 1     | 1     | 0     | 1     | 4  |

• すべてのエンド終了後、各エンドの得点を合計し、総得点の多いチームが勝者となる。

• 上記得点表では、5-4で赤チームの勝ち。勝利したエンドの数ではなく、合計点数で競う。得点版を使用する場合は、第1エンド終了後、第2エンドは追加して得点を入れるようにする。

• タイブレイクは、勝者を決めるために行うエンドで、得点には入らない。

# ポッチャコート寸法図

